

石狩川上流・天塩川上流水防連絡協議会
第2回 石狩川上流減災対策委員会 議事要旨

日 時：平成28年9月8日（木） 13:30～15:30
会 場：アートホテルズ旭川 3階 ボールルーム
参加者：別紙による

【議事】

- (1) 8月20日からの大雨による出水概要について
- (2) 幹事会の報告
- (3) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく石狩川上流の減災に関する取組方針（案）について

【議事要旨】

- ・ 8月20日からの大雨による出水概要の情報共有
- ・ 水害時の対応に係る市町村向け啓発ビデオの情報共有
- ・ 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく石狩川上流の減災に関する取組方針の確認及び承認

【委員会らの主な意見】

(旭川市)

- ・ 今回の23日の出水は伊納地点で氾濫危険水位を超過する規模となったが、開発局からのリエゾン、排水ポンプ車、資機材、ホットラインなどの支援に感謝。
- ・ 土砂災害の危険性が夜中から朝方にかけてあり、住民への確実な情報伝達手段について課題があると認識。早めに避難所を開設し、自主避難を促すことを行ったが、スマートフォン等によるプッシュ型の情報配信や、FMラジオの緊急割り込みなど検討していきたい。また、ハザードマップの改訂やインバウンドへの情報提供など、取り組んでいきたい。

(鷹栖町)

- ・ 平成26年出水における床上・床下浸水を踏まえ、釜場等の整備や、地元住民も含めた防災訓練を河川事務所と連携しながら実施しており、これらの整備や取り組みが8月20日の出水時に効果を発揮したと感じている。
- ・ 開発局も少ない職員の中で対応しており、町としても被害を最小限にすべく開発局と連携を図っているところ。
- ・ 南富良野町では累計雨量で500mmを超過する降雨があり、これが上川中部で発生した場合のリスクなど、皆で議論できる場が必要と感じた。

(東神楽町)

- ・ 忠別川本川は忠別ダムの効果も大きく、ある程度安心できるが、支川からの氾濫等を懸念している。
- ・ 国管理河川は、水位情報や CCTV 映像などで状況把握が可能だが、中小支川についても整備の必要性を感じている。
- ・ 樋門管理のあり方については、東神楽町としても連携していきたいと考えている。
- ・ 住民への情報提供について、FM などを用い流域で連携してできる事がないか考えていきたい。

(当麻町)

- ・ 南富良野町の被害は同じ上川管内として他人事ではない。
- ・ 南富良野町での堤防決壊要因について流木の影響はあったのか、今回の出水で河道内に多くの流木が発生しており気になっている。
- ・ 基準水位観測所が町から離れた位置にあり、各種水位情報と町近傍河川の状況がマッチしていないと感じており、住民の避難に結びついていない。避難判断に必要な情報提供が必要。
- ・ 現行ハザードマップでは、洪水に対してリスクが高い区間等の危険箇所がわからないため、改良が必要と感じている。

(比布町)

- ・ 今回の出水を踏まえ、改めて災害の恐ろしさ、災害を防ぐことの難しさを実感した。
- ・ 水害時の使用可能な避難場所の再確認等含め、ハザードマップの見直しを行う。
- ・ 特に避難行動要支援者の避難体制については、早め早めの判断が必要で有り、的確に住民に指示しなければならないと考えている。

(愛別町)

- ・ 7月31日の出水では、町周辺は強い降雨ではなかったが、山での降雨が短時間に河川へ流入・増水し被害が発生したことから、気象情報の的確な収集が重要であると感じた。
- ・ 8月の出水では、パトロール、土嚢積を実施、避難準備情報の発信等、早い段階での行動が出来た。

(上川町)

- ・ 今回の出水において、大雪ダム、砂防施設の効果に感謝。
- ・ 平常時からの備えや訓練等、住民と行政との信頼関係の構築が重要であると思っている。
- ・ 大雪ダムの防災操作に関する情報をホットラインにより受けたが、町に対しどの程度の影響となるのか、どの地区までの住民に情報伝達すべきなのか判断に苦慮した。
危機管理上、大雪ダム等を対象とした大規模な被害想定について把握しておきたい。

(東川町)

- ・ 減災に対する取組として、水防工法の実施に関する事項も重要であるとする。
- ・ 現場での早期対応が大規模災害に対し効果があると思う。

(美瑛町)

- ・ 今回の出水では、町道が4橋落橋、70haの農地浸水、断水などの被害が発生。
- ・ 自衛隊、開発局、旭川市などの給水支援や、リエゾン、TEC-FORCEの支援に感謝。

(上川総合振興局)

- ・ 一連の出水による河川施設の被害について、現在把握している限りでも100箇所以上(被害額では30億円以上)となった。今後とも、関係機関と連携して物的・人的被害を最小限に食い止めていきたい。

(北海道警察旭川方面本部)

- ・ 8月20日からの大雨による各種被害において、人命救助最優先で対応にあたった。
- ・ 南富良野町では、夜中であり被害把握が難しく、現場がどうなっていて、どういったものを現場に投入すべきか判断に苦慮した。
- ・ 引き続き市町村、関係機関からの情報収集・共有に力を入れていきたい。

(旭川地方气象台)

- ・ 今年の台風の動きは地球温暖化による影響もあると考えている。近い将来に大出水が発生することも想定して、減災への取組を実施していくことは重要だと思う。
- ・ 气象台としても、防災気象情報の精度向上に努めるとともに、市町村と連携して防災意識向上の取組を実施していく。

(旭川開発建設部)

- ・ 今回の出水を踏まえ、各種情報共有のあり方については、きめ細かな対応が重要であるとする。
- ・ 今回の出水では各地で内水氾濫が発生しており、旭川開発建設部所有の排水ポンプ車のみでは排水作業が追いつかず、配置に時間を要した箇所もあったが、他の開発建設部ポンプ車の応援を含め排水作業を行うことができた。
- ・ 河道内流木処理については鋭意努力したい。また、平常時からの樹木管理についても引き続き実施していく。
- ・ 水防団や樋門操作人等の高齢化、水防資材、重機、オペレータ不足等の問題に関し、日頃からの準備が重要と考えており、今後の対応に反映していきたい。

石狩川上流・天塩川上流 水防連絡協議会

第2回 石狩川上流減災対策委員会

所 属	役職名	氏 名	備 考
旭川市	市長	西川 将人	代理：防災安全部長 玉田 伸二
鷹栖町	町長	谷 寿男	
東神楽町	町長	山本 進	
当麻町	町長	菊川 健一	
比布町	町長	伊藤 喜代志	
愛別町	町長	前佛 秀幸	
上川町	町長	佐藤 芳治	
東川町	町長	松岡 市郎	
美瑛町	町長	浜田 哲	代理：副町長 塚田 聡仁
上川総合振興局	局長	渡辺 明彦	代理：旭川建設管理部 用地管理室長 串橋 正毅
北海道警察 旭川方面本部	本部長	池田 康則	代理：警備課長補佐 佐々木 学
陸上自衛隊第二師団	師団長	高田 克樹	欠席
旭川地方气象台	台長	磯部 英彦	
旭川開発建設部	部長	伊藤 丹	